

基礎看護講義内容 (32年度業)

-1-

I 総論 (I)

- 1. 看護の歴史
  - 健康と病
  - 看護の発展
- 2. 看護の対象と背景
  - (1) 看護の対象
    - a. 健康人
    - b. 病人
  - (2) 看護の背景
    - a. 社会 (Community)
    - b. 地域
    - c. 施設
    - d. 保健医療従事者
- 3. 看護の目的
  - a. 健康の維持
  - b. 健康の増進
  - c. 疾病の予防
  - d. 健康の回復

II 総論 (II)

- 1. 看護の活動形式
  - (1) 個別看護
  - (2) 総合看護
- 2. 看護組織
  - 看護部
  - 看護科
  - 看護課
  - 看護組
- 3. 看護場所以関する研究
  - 看護場所以関する研究
  - 看護場所以関する研究
  - 看護場所以関する研究
  - 看護場所以関する研究
- 4. 看護活動に關する研究
  - 看護活動に關する研究
  - 看護活動に關する研究
  - 看護活動に關する研究
  - 看護活動に關する研究
- 5. 看護教育
  - 看護教育
  - 看護教育
  - 看護教育
  - 看護教育
- 6. 看護の展望

III 看護の方法と技術の原則

- 1. 看護の方法と技術の原則
  - (1) 観察と記録
  - (2) 看護の意義
- 2. 観察と記録
  - a. 一般的事項
  - b. 環境
  - c. 症状
  - d. 現在
- 3. 記録の意義
  - a. 記録の目的
  - b. 記録の種類
  - c. 記録の方法
  - d. 記録の管理
- 4. 消毒と滅菌
  - (1) 消毒の目的
  - (2) 消毒の方法
  - (3) 消毒剤の種類
  - (4) 消毒の単位

実習書

- 1. 物品の取り扱い
- 2. 体温測定法
  - ① 呼吸
  - ② 胸部
  - ③ 腋下
  - ④ 体表
- 3. 身長測定法
- 4. 血圧の測定法
- 5. 瞳孔
- 6. 検査

註

- ① 住居 (物理的環境を含む)
- ② 衣類
- ③ 履具
- ④ 衛生
- ⑤ 体象
- ⑥ 皮膚
- ⑦ 髪
- ⑧ 歯
- ⑨ 爪
- ⑩ 視力
- ⑪ 聴力
- ⑫ 嗅覚
- ⑬ 味覚
- ⑭ 触覚
- ⑮ 痛覚
- ⑯ 温度覚
- ⑰ 湿度覚
- ⑱ 圧覚
- ⑲ 振動覚
- ⑳ 平衡覚
- ㉑ 運動覚
- ㉒ 位置覚
- ㉓ 方向覚
- ㉔ 速度覚
- ㉕ 加速度覚
- ㉖ 角速度覚
- ㉗ 角加速度覚
- ㉘ 重力覚
- ㉙ 浮力覚
- ㉚ 振動覚
- ㉛ 振動覚
- ㉜ 振動覚
- ㉝ 振動覚
- ㉞ 振動覚
- ㉟ 振動覚
- ㊱ 振動覚
- ㊲ 振動覚
- ㊳ 振動覚
- ㊴ 振動覚
- ㊵ 振動覚
- ㊶ 振動覚
- ㊷ 振動覚
- ㊸ 振動覚
- ㊹ 振動覚
- ㊺ 振動覚

2

(5) 運動と休養 (含姿勢, 睡眠)

(6) 性 (月経, 男子の發成, 妊娠, 男女交際, 結婚)

註

-4-

方法と技術

実習書

(2) 環境整備上の問題  
衣類と衣類の洗濯  
1 衣類の洗濯  
2 衣類の洗濯  
3 衣類の洗濯  
4 Bedの作り方  
a 基本的な作り  
b 看護管理上の応用

Bedの作り方

(3) 身体清潔  
1 清潔の程度  
2 清潔の程度  
3 清潔の程度  
4 清潔の程度  
5 清潔の程度

清潔法  
全身清潔法  
口腔の清潔法  
結核菌の消毒法  
洗髪法  
洗髪法  
洗髪法

(4) 排泄  
1 健康習慣の維持  
2 健康習慣の取扱い  
a 排便の取扱い  
b 尿の取扱い  
c 汗の取扱い  
d 汗の取扱い  
e 汗の取扱い  
f 汗の取扱い

便器の消毒  
尿管の消毒  
尿管の消毒  
尿管の消毒  
尿管の消毒

(3) 食事  
1 食事の必要性と摂取  
2 食事の必要性と摂取  
3 食事の必要性と摂取  
a 食事の必要性と摂取  
b 食事の必要性と摂取

経営栄養法

(小・外)

(印は臨床実習におけるカンファレンスと共通のもの)  
( )内は臨床実習名

(7) 方法と技術  
1 疼痛の緩和と安楽  
2 安楽の必要因子  
3 安楽の必要因子  
4 安楽の必要因子  
5 安楽の必要因子  
6 安楽の必要因子  
7 安楽の必要因子  
8 安楽の必要因子

実習書  
薬物の投与法  
薬物の投与法  
薬物の投与法  
薬物の投与法  
薬物の投与法

註  
平井花生

5 投薬

(1) 投薬の意義と目的  
(2) 投薬の取扱いの基本的事項  
(3) 投薬法  
1 経口投薬法  
2 経口投薬法  
3 経口投薬法  
4 経口投薬法  
5 経口投薬法  
6 経口投薬法  
7 経口投薬法  
8 経口投薬法

経口投薬法  
経口投薬法  
経口投薬法  
経口投薬法  
経口投薬法

(小・外・内)

6 救急

(1) 救急の発生と予防  
(2) 救急の発生と予防  
1 救急の発生と予防  
2 救急の発生と予防  
3 救急の発生と予防  
4 救急の発生と予防  
5 救急の発生と予防  
6 救急の発生と予防  
7 救急の発生と予防  
8 救急の発生と予防

輸血・輸液  
輸血・輸液  
輸血・輸液  
輸血・輸液  
輸血・輸液

(外)  
(外) 整外)

実習書

註

方法と技術

- (3) 運搬法
- (4) 救急箱
- (5) 包帯材料の種類

- 1 包帯の種類
- 2 包帯の種類
- 3 包帯の種類

一基本的型

7. 死後の処置

- 1 死後の徴候
- 2 死後の処置

- a 一般的事項
- b 方法

死後の処置

2. ~~Human Relations~~ 健康指導の意義 目的

- (1) 健康指導の意義 目的
- (2) 基本的指導

- 1 個別指導 Case Work
- a 方法
- b 方法

- ・面接技術
- ・指導条件

2. 集団指導 Group Work

- a 材料法
- b 方法

3. その他方法

- a 集會
- b 地域社会内の組織活動

- (3) 指導の計画と実施上の注意
- (4) 指導の交わり果判定

7. 死後の処置

Personal Needs ... Technique 217-219 217-219

Bed - Linen change (307)

全身清掃

導尿管

尿管

尿管

文献総収

- ・環境 (位置)
- ・床
- ・褥瘡 (Pain)

Conference

3/10 1. 運搬法

3/10 2. 尿管清掃法

3/10 3. O2-inh.

3/10 4. 輸血法